

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		狂犬病予防事業				
	担当課・係名		町民生活課 環境衛生係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	04 衛生費		中分類	06 安全な暮らしの確保	
項		01 保健衛生費	小分類				
	目	03 環境衛生費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		915	910	987	910	926
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	951	910	1,017	910	920
		一般財源	-36	0	-30	0	6
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
犬を飼育している方。							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
狂犬病予防注射（集合注射）を実施し、狂犬病の発生を予防し、また蔓延を防止し撲滅すること。							
⑤	事業概要						
各地区において集合注射を実施する。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
原材料や輸送コストの増額による予防注射代の増額が見込まれている。 消費税の増額により予防注射代の増額が見込まれる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
狂犬病予防法							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位： %	実績値	97	96	98		
		目標値	100	100	100		
定義	登録頭数に対する予防注射接種割合						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	狂犬病の予防・撲滅のため集合注射の実施は必要
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	町が集合注射を実施することで高い接種率を維持し、狂犬病の予防及び撲滅に繋がる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	宮城県獣医師会と狂犬病予防注射業務に係る委託契約を締結し、実施している。 注射料2,470円、注射済票550円、新規登録料3,000円
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	犬の各種届出（登録、死亡、転入転出など）が適切にされていない方が多いため、適正な実績値が出ない。 地区衛生組合長の協力を得ながら、適切な管理指導に努める。

⑪	課長総括評価 合計点 50	狂犬病予防法に基づく事業であり、地域の安全な暮らしを確保するためには不可欠な事業であることから、今後も適切に推進する必要がある。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	